

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 株式会社ケアベルデ  
施設名 ベルデ岐阜長良  
施設の種別 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド(株)	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
9 台	令和 4 年 10 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

**【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】**  
※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
ベッドから移動時の転倒リスクの高い方、看取り等で状態が不安定な方の状態確認の一つの手段として、夜間不眠の方の睡眠状態の確認の手段として、該当の方に24時間使用している。アラーム機能を使用する事で利用者様の活動状態に合わせた通知を行い定期的巡回頻度の減少を行っている。

## 3 導入によって得られた効果

**【目標の達成状況】**  
※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
目標にする勤務体制の変更までは至っていないが、夜間巡視頻度の軽減により必要な方の援助に計画的に伺うことが出来る。居室内でどのように活動しているか? 見えない不安によるストレス軽減につながり、退職理由の「夜勤勤務が不安」という理由は無くなった。

**【介護ロボットの導入効果】**  
※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
多い方では2時間に1回の巡視を行っており就寝後、12時間程度で6回の巡視を行っていたが睡眠時間に合わせた巡視で3回に減少。  
介護職員15名に眠りSCANが「あったほうが良いか?」「なくても良いか?」の質問には全員が「あったほうが良い」と返答。

## 4 その他

**【介護ロボットの不都合な点等】**  
※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
実際の利用者様の体動と、センサーの感知に誤差があり対応が遅れていることがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートヴィレッジ谷汲の杜  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りスキャン
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 4 年 12 月 9 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

すでに眠りSCANを15台導入しており、今回は10台の追加導入となった。使用対象としては睡眠が浅い方への睡眠状況の観察。また、体動による事故の早期発見、体調不良者の健康管理などに使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・利用者ごとの詳細な体調管理を活用したサービスの向上  
医療機関への受診時など眠りSCANをデータ化(グラフ)し、睡眠の質の向上、改善に務めるようにしている。しかし現状では実際に改善されたという事例は少なく、今後も引き続きデータや医療機関との連携を続ける。  
・見回り回数削減による業務時間の効率化  
見  
回り回数は2~3回程削減でき、SCANの反応があった際に訪室する事で、事故予防や早期発見が出来ている。  
・ロボット等を活用した働き方のアピール、施設のイメージアップによる人材確保  
求人や外部講師として話す際に、ロボット・ICT機器等の紹介や活用方法などを伝えている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

一人ひとりの睡眠状態を把握し測定データが見える化(グラフ)し共有することで、利用者ごとの体調管理ができ、申し送りで詳しく報告することができた。今後はケアプラン作成に役立てたい。  
また、居室での状況が見える化されたことで、見回り回数が少なくなり、業務時間の効率化が図れた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

このシステムは介護ステーションのPCの画面で利用者様の状態がわかるが、他の場所にいるときにはタブレット・スマホではアラーム(音)で通知されるだけなので、画面で見れるようになるとよい。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 宗教法人 天理教若高分教会  
施設名 シニアホーム高山  
施設の種別 特定施設入居者生活介護(有料老人ホーム)

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド株式会社	見守りセンサー「眠りSCAN」
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
12 台	令和 4 年 9 月 30 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

眠りSCANは令和3年度に10台、令和4年度に34台を導入し、現在44台の眠りSCAN、介護ソフトウェア「ケアカルテ」、ナースコール「ビーナース」、携帯端末は「iPhone」「iPad」で全てWiFi設備等で連動のもと運用している。一部の携帯端末にはインカム「ショックスOPENCOMM」が接続され、音声入力ソフト「ハナスト」による記録入力も試験的に稼働を開始している。本館2階は全31室に眠りSCANが導入されており、業務省力化のため専用モニターを確認することで巡回数を削減し、覚醒時に訪室する試みを実施中。残りの眠りSCANは、看取り対象の入居者様、睡眠障害や重度の認知症者に優先して使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

眠りSCAN導入時は、看取り対象者の異常を早期に察知できること、覚醒時に訪室することで利用者様の睡眠を最大限確保すること、専用モニターを確認することで巡回数を削減して夜勤者の負担軽減を図ること等を目標としていた。看取り対象者の呼吸数や心拍数は終末期が近づくと変動がみられるケースが多く、呼吸停止時も離床表示となるため、急変を素早く察知することができ、ご家族にも早期に連絡することが可能となった。また、眠りSCANが設置された居室であれば、覚醒時のみに訪室することで眠りを妨げるケースも減少できている。専用モニターで安静状態を確認することによる巡回数削減の試みも試験的に実施されており、職員の身体的・精神的負担の大幅な軽減が実証されている。眠りSCANから得られる呼吸・心拍・睡眠データは、体調異常時に担当医への有用な情報となり、認知症薬や睡眠薬の調整にも重要なデータとなっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

看取り対象者の見守りについては、安静状態が携帯端末で一目で確認できる上、心拍・呼吸の異常は一人ひとりの設定によるコール通知があるため、これまでのように高頻度の巡回の必要性は無くなっている。本館2階は全居室に眠りSCANが設置されており、夜勤帯5回以上の巡回についても眠りSCAN専用モニターを確認しながらオムツの吸収量や種類を十分検討することで実際の巡回数は3回以上程度に抑えられている。睡眠状態の利用者様は専用モニターで見守り、覚醒状態の利用者様は訪室して状態を確認して必要な介護サービスを提供することで、利用者様は睡眠を最大限確保ができ、職員は安心して必要な介護サービスの提供に集中することが可能となっており、夜間の事故報告も全システム稼働から2ヶ月半ではあるが明らかに減少傾向がみられている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

離床センサーとしてはタイムラグがあるため、転倒リスクの高い利用者様には別にセンサーマットで対応している。  
館内通話はiPhoneやインカムを使用するが、稀に通話が途切れたりする現象がみられるため、原因がWiFi設備若しくはiPhoneの設定によるものか設置業者と確認作業を行っている。

眠りSCANを必要とする利用者様に度々変更があるため、担当職員がその都度移動、設定を変更して使用している。

体動が激しい利用者様は一定時間覚醒状態を確認後に訪室し、睡眠時をなるべく避けるように注意している。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 浩仁会  
施設名 ショートステイホームセント・ケアおおの  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 4 年 9 月 16 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
見守り機器ではあるが、主にエアマットレスとしての機能を重視して使用を行い、褥瘡予防に努めている。使用する対象者としては、主に自分で寝返りが行えないあるいは、寝返りは行えるが、介助の必要な方かつ、臥床時間の長く、栄養状態の悪い等褥瘡の発生の危険性の高い方を対象として、優先順位を決めて使用している。場合によっては、ベッド上で体動があり、ベッドサイドから転倒又は転落する危険性が高い方を対象に、ナースコールと連動した通知機能を使用して、自らの意思を伝えられない方が足がベッドから降りたことを職員に知らせるという形で活用した例もある。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
夜勤職員の業務負担軽減することを目標の1つに掲げているが、見守り機能付きエアマットレスを導入することで、①利用者の見守りを補助してくれることでの職員の心理的負担軽減②体位変換を行う頻度を少なくなることで、利用者の睡眠を妨げない、職員の身体的負担軽減が行える。③褥瘡発生予防及び悪化防止である。①、②については職員によっては高齢の職員もいるため、負担軽減につながっており、腰痛などでの労災や休職等に起きていない。利用者においても夜間良眠されており、昼夜逆転や帰宅願望など行動・心理症状が増強するなどは起きていない。③については導入後に新たに褥瘡発生した方はいなかった。導入前に褥瘡のあった方は使用することで悪化せず、改善にむかった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

褥瘡発生の危険性の高い方や褥瘡のある利用者は、夜間帯に2～3時間ごとに訪室し、体位交換を行っていた。多い時には、1日に12回訪室していたが、アミアによる自動除圧を行うことで、体位交換での訪室回数は減少し、職員の身体的、精神的負担が軽減された。利用者にとっても、身体に触れられることで起こされる機械が減少し、夜間も安眠に繋がっている。転倒の危険性が高く、ナースコールの操作ができない方に対して見守り機能を活用することで、ベッドからの転倒や転落予防ができ、骨折等事故が発生していない。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

ナースコールに連動した形での通知は、職員だけでなく、他利用者にも聞こえ、騒音となり不眠につながりかねない。他の見守り機器と同様に携帯できるスマートフォン等に通知することで、すぐに確認して対応できると職員にとってさらに負担軽減につながると考える。見守りというよりは、エアマットレスとしての機能に利点がある。夜勤職員負担軽減と考えた時に、自動的に体位変換を行う、体圧を数値化して自動的に体位を変換する等行えると、褥瘡ができず、体位変換や処置の時間を削減できると考える。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 野原電研株式会社  
施設名 ショートステイ・柚子養老  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	キング通信工業㈱	見守りシルエットセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
2 台	令和 4 年 10 月 3 日	令和 一 年 一 月 一 日から 令和 一 年 一 月 一 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・転倒リスクが高く、センサーマットでは間に合わない方に使用している。 ナースコール押されず転倒リスクが高い方に使用している

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

目標:4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数の3%削減 2,008時間 (日中 1,729時間 夜間 279時間)

4年7月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 2,070時間 (日中 1,782時間 夜間 288時間)

結果:5年3月のケア(看護・介護職員)総労働時間数 1,944時間(6.1%削減) (日中1,664時間(6.6%削減) 夜間280時間(2.8%削減))

・効果的に運用できるようになり、時間削減につながっています。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・居室に行かなくてもタブレットを通して居室の様子をみる事が出来る。映像を通して危険行動が起きそうな時に対応できる。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・赤外線で映る為、映像が見にくくわかりにくい。柵の中から少しでもはみ出たら鳴る為、柵の範囲をもう少し広く出来るとよい。電波の関係で事務所から遠い居室には使用出来ない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 岐阜県厚生農業協同組合連合会  
施設名 岐阜・西濃医療センター西美濃厚生病院介護医療院  
施設の種別 介護医療院

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)モルテン	アメリア(エアマットレス)MELA83
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
10 台	令和 3 年 11 月 25 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・認知症等の行動予測、ナースコールの使用が困難な利用者の不意な起上り動作等に迅速な対応が必要な時。  
・循環動態が不安定な状態の利用者、体格の良い利用者、拘縮がみられる利用者の体位変換における外圧部や摩擦による褥瘡の予防が必要な時。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

転倒・転落リスクのある利用者が多く、入所定員56名の内、認知症等により身体異常時に意思表示ができず、見守りが必要な利用者が15名以上入所しており、介護職員の夜間の見守り等による負担が大きいため、精神的・身体的負担の軽減が目標である。

既存の離床センサーより感度がよく、ナースコール(院内PHS)と接続したことで、認知症等によりナースコールの使用が困難な利用者の不意な起上り動作に迅速な対応が可能となったが、体重が30kg以下の利用者はセンサーが反応しないため、身体的な負担軽減に繋がっておらず、令和4年度にて「眠りスキャン」を導入した。しかし、ターミナル等の寝たきりの利用者における褥瘡予防の効果は大きく、褥瘡発生者は0人であり介護職員等による体位変換に係る時間も減少している。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

体格のいい利用者や、拘縮がみられる利用者の体位変換は、外部圧や摩擦により、褥瘡を発生させる要因となるが、除圧調整機能による体圧分散により、最小限の体位変換(圧抜き等)が可能となっているため、夜勤の巡回時等における体位変換に伴う業務量が削減できたと、介護職員から概ねの評価は得られている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

機器の側面にある離床センサーのコードが折れ曲がりやすいため、断線等に注意しながらシーツを交換する必要があり、従前より時間を要する。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人登豊会  
施設名 パーソナルデイみんなのお家岐南  
施設の種別 認知症対応型通所介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	モルテン	モルテンテレサコール
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 R3 年 9 月 17 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

自分で起き上がりがあり、ふらつきや危険認知機能低下の為、見守りや定期的な訪室と離床時の見守りや立ちあがりに介助が必要な利用者に対して、主に昼食後の静養室での休息時間に使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

静養室で見守りセンサーを使用することで訪室回数が減少し、訪室に要していた職員の介護時間をより介助が必要な利用者へ適正に配分出来るようになった。見守りや訪室の頻度を増やすことなく、利用者が立ち上がりや離床する際にセンサーが作動することで必要に応じて介助を行うことができ、職員の心理的・精神的介護負担の軽減につながっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

約30分おきに行っていた、見守りによる訪室がセンサー作動時に訪室するようになり訪室回数・訪室時間が減少した。また、利用者のプライバシー保護に繋がり、利用者が訪室で目を覚ますことが少なくなりゆっくりと休息がとれるようになった。また、センサーが鳴る事で転倒リスクの軽減になり、職員への心理的な負担の軽減にもつながっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

体重制限があり、体重が軽すぎる利用者や離床した際、身体の位置によってはセンサーが作動しない事がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 みどり福祉会  
施設名 特別養護老人ホーム あんきの家細畑  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	エイアイビューライフ株式会社	エイアイビューライフ
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
19 台	令和 3 年 2 月 6 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

・夜間、居室のドアが閉められている状況で、ベットから離床し、転倒する事故が発生した際、どのように転倒したのか、確認でき、打撲等の状況確認も行いやすく看護との連携も円滑になった。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

・夜間の起き上がり感知により、未然に転倒事故にならないよう居室に駆け付けることができなどの事例が多く、効果を感じている。また、転倒事故等発生した場合にも、ご家族様に客観的な事実をお見せできるようになり、ご理解されやすくなった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

・事故発生時の映像から説明時の齟齬がなくなり、看護との意思疎通も進んだ。また、利用者様の説明ではわからない、打撲カ所が特定しやすくなった。(認知度が高い方が多いため)

・夜間の見守りがモニターで確認できるため、夜間は職員1名のため、不安解消の一助となっている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・利用者様の反応が早く、エイアイビューからの通知が来てからの訪室では間に合わない事もあった。



# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団 康誠会  
施設名 プラザ21おおの  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	A.I.Viewlife	エイアイビューセンサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
8 台	令和 3 年 11 月 19 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

見守りセンサーが鳴り、今までは訪室をしていたが、画像で確認できる為、不要な訪室が減った。転倒リスクの高い利用者が増えたことで、同時にセンサーが鳴るケースもある。画像で確認できるので優先的に対応が必要な方へ素早くいくことが出来た。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

転倒リスクの高い利用者が増えたことで導入をしました。利用者の方の安心、安全な生活が出来る事、職員の負担軽減を図る事を目的とする。多機能であり使用に慣れるのに時間がかかる為、最初は他の見守り機器と併用して使用。スマホで居室状況を画像で確認できるので、訪室回数が減り、職員の負担軽減が図れた、また転倒リスクの高い方へのケアが素早く行えるようになった。夜間の巡視回数を削減することができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

職員の訪室回数が減り心身の疲労が軽減、その分利用者の方と関わる時間が増えた。不要な訪室が減り、利用者の方も安心して休むことができる。また、夜間帯の職員が少ない時間やケア時に訪室することなく画像で確認できるので職員の負担やストレスの軽減になっている。録画機能もあり、ヒヤリハットや事故が起きたときに動画で検証ができ事故の対策が立てやすくなった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

多機能であり勉強会により使用方法を学ぶ時間を作ったが、使い方に慣れるまでに時間がかかった。設置する際の設定が細かく複雑であり、一部の職員しかできない。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 医療法人社団 康誠会  
施設名 プラザ21おおの  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ハカルプラス	CAREai超音波センサー
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
1 台	令和 3 年 9 月 18 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

認知症があり、身体機能が低下し転倒のリスクの高い方に使用。居室で休まっている時にトイレなど一人で車いすに移乗する際、見守りや移乗介助が必要な時にすぐに駆け付ける。  
夜間せん妄のある方が眠れず、予測できない行動をされる方が急に起き上がったり、立ち上がったりす時にすぐに駆け付け対応する。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

転倒リスクの高い利用者が増えたことで導入をしました。利用者の方の安心、安全な生活が出来る事、職員の負担軽減を図る事を目的とする。他の見守り機器と併用することで不要な訪室が減り、職員の負担軽減が図れた、転倒リスクの高い方へケアが素早く行えるようになった。夜間の巡視回数を削減することができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

ベット下に設置ができるので、センサーマットを気にする方に対してはスムーズに導入ができた。夜間帯の職員が少ない時間やケア時に鳴っても手持ちのペンダントに居室の番号が表示されるので、どこで呼ばれているのかその場で確認ができ職員の負担やストレスの軽減が図れている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

多床室での使用する際、設置状況によっては同室者の動きでも感知してしまうケースがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人三輪会  
施設名 地域密着型介護老人福祉施設シルバータウン岩井  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	アメリア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
3 台	令和 4 年 1 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

**【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】**  
※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
・ベッド上での体動が多くみられるご利用者様や、自力で寝返りができないご利用者様に使用した。  
・皮膚が弱く、褥瘡ができる可能性の高いご利用者様に使用した。  
・看取りのご利用者様に使用した。

## 3 導入によって得られた効果

**【目標の達成状況】**  
※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
・転倒リスクのあるご利用者様のもとへ直ぐに訪室することができたことで、安全な介助に繋がった。  
・職員が直ぐに対応することで、ご利用者様に安心感をもっていただけるようになった。  
・センサーの設定が細かくできるので、ご利用者様に合った見守りが行えた。  
・体位交換を併せて行うことで、褥瘡の発生を抑える、または褥瘡の悪化を防ぐことができた。  
・看取りのご利用者様に対し、体位交換や保湿等と併せてケアを行うことで、皮膚トラブルなくお過ごしいただけた。

**【介護ロボットの導入効果】**  
※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
・職員は、居室で発生する事故への不安感や緊張感等の負担が軽減され、心に余裕を持って業務に従事することができた。  
・ご利用者様は、職員の訪室回数が減ったことで安眠の確保に繋がった。  
・空気の循環機能があるので、ご利用者様は快適に休んでいただくことができた。

## 4 その他

**【介護ロボットの不都合な点等】**  
※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。  
・コンパクトに折りたためないため、保管場所のスペースが必要となった。  
・配線を収納するマット横のファスナーが、噛んでしまうことがあった。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 桜友会  
施設名 ほほえみ福寿の家  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	ノーリツプレジジョン株式会社	Neos+Care
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
12 台	令和 R4 年 3 月 11 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

毎日稼働。事故を未然に防ぐことができた。発生してしまった事故の改善計画の根拠としても活用。計画の立案時間や原因分析の時間削減ができた。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

センサー通知時、業務を行いながら通信端末を確認する事で、行っている業務の手を止める場面が減少。訪室して確認する工程減少。発生してしまった事故の改善計画の立案時間や原因分析の時間削減に効果があった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

訪室時間、回数の減少:センサーの反応の多い利用者で1時間5回×24時間=120回の訪室回数を減らす事ができた。120×居室に行くまでの往復時間30秒=3600秒(約1時間)の減少。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

機器のセッティングがやや困難なため、専任職員が必要。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ **2年目** ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 墨友会  
施設名 サンヴェール花水木  
施設の種別 短期入所生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	フランスベッド	見守りケアシステム
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
6 台	令和 3 年 12 月 5 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。  
行動の不安定な利用者が毎日利用されているため、センサーベッドを常に使用している。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。  
転倒リスクの高い利用者や、疾患により行動が不安定な人に使用することで、1ユニット10名の利用者をまんべんなく見守り、対応ができるようになった。  
ベッドサイドでの事故防止につながっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。  
新しい利用者で、日常の行動が十分把握できていない場合など、センサーを使用することで、職員の精神的負担が軽減されている。利用者に合わせて、センサーベッドを設定することにより、個別に対応したケアができるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。  
センサーの感度が良いため、少しの動きでもセンサーが反応してしまうことがある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 千寿会  
施設名 地域密着型特別養護老人ホーム千寿の里西小田  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
20 台	令和 3 年 3 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

特養対象者20名(全員)

夜間帯、不眠で覚醒が多い入居者への検証。

睡眠状態の把握、脈拍や呼吸数の把握。

排泄介助のタイミングをデータ(入眠傾向)で把握できるように検証。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

睡眠状況を把握することで生活リズムの改善に繋がってきた(昼夜逆転、不眠)。

夜間帯、良眠されている入居者の睡眠が浅くなったタイミングを把握することで、本人の負担を軽減して排泄介助を行うことが出来てきた。

スタッフの精神的負担を軽減し効率的な業務を行うことが出来ている(一つの画面でデータや入眠状態の把握が出来る)。

転落事故を未然に防ぐことが出来てきた(覚醒状態の把握)。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

入居者の覚醒状態が把握しやすいことにより、ベッドからの転落リスクのある入居者の覚醒時に訪室して転落事故のリスクが減った。

眠りSCANにより、訪室せずに入居者の良眠状態を把握できるので何度も訪室することで入居者を起こしてしまうことがなくなり、快眠に繋がっている。

客観的なデータとして見て活用することが出来る(体調不良、異常の早期発見など)。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

眠りSCANでは、画面上で覚醒している入居者を確認する為訪室した際に、表示とは違い良眠されていたりすることがある(精度の課題)。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 新生会  
施設名 サンビレッジ大垣  
施設の種別 地域密着型介護老人福祉施設入居者生活介護

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウント	眠りスキャン
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
21 台	令和 3 年 2 月 17 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

毎日、各ユニットのメインパソコンにて、睡眠状況・離床検知・心拍等の情報表示を行い、状態、状況把握を実施。昼間は原則、離床を推進している為に活用頻度は少ないが、状態に応じて休養者がいる場合には活用。夜間帯は基本、全利用者を対象としてモニタリングをしている。浅眠時、排せつでの目を覚ました際、不穏時等に迅速に対応に当たれる。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

適宜、睡眠状況を把握することで、早期の介入が出来、リスク軽減に繋がっている。また、看取り期にある利用者には心拍、呼吸等の情報を逐一確認できるこれらによって夜勤者の巡視に掛かる身体的負担、心理的ストレスの軽減に繋がっている。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

眠りスキャンの見守り機器がない時には2時間おきでの巡視に加え、個々の状況や覚醒状況や経験による訪室を頻回に行っていた状況もあった。入所者にとっても、居室を訪室するわずかな音や扉の開閉音にも敏感に気付いてしまい、睡眠の妨げになっている方もいた。しかし、眠りスキャンでの見守りを実施することで“点”での情報が全体把握での“線”で捉える事が出来ている。結果として巡視回数の軽減に繋がっている。離床検知による設定を行うことで転倒リスクへの事前察知に繋がり、リスク回避となっている。利用者の巡視回数の軽減による安眠に繋がっている状態や介護職員にとっても負担軽減に繋がっており、眠りスキャンの見守り機器の必要不可欠なものになり、満足度も高い状況である。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

設備での課題もあるが、ネットワークでの不具合もあり、エラーが発生することもある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人 伝心会  
施設名 特別養護老人ホーム やすらぎ苑  
施設の種別 介護老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	パラマウントベッド	眠りSCAN
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
5 台	令和 3 年 2 月 4 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

- ①新規入所者に入所後約1ヶ月間使用することで睡眠、呼吸、心拍の状態等を把握する。
- ②看取りケアに近い身体状況の利用者に使用し、呼吸、心拍の変化を観察する。
- ③認知症の進行により昼夜逆転状態が見られ、医師より眠剤が処方された利用者に使用し、眠剤の効果を観察する。
- ④夜間帯に居室で起き上がり後に転倒の恐れがある利用者に使用し、起き上がりセンサーをONにしたり睡眠状況を観察することで夜間帯の体動や覚醒を把握する。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

- ①新規入所者の睡眠サイクルを観察することで、個人ごとの起床、就寝時間を的確把握でき、朝が弱い利用者には他の方よりも朝食時間を遅くする等の工夫をすることができた。
- ②看取りケアで呼吸、心拍を観察することで最期を迎えられる前兆を知ることができ、ご家族に最期の面会を勧めたり、職員が心の準備をして最期を見届けることができるようになった。
- ③眠剤の効果を感覚ではなくデータで確認できるようになり、利用者の状況を専門医と相談することで薬を適切に調整できるようになった。
- ④夜間帯に目が覚めてベッドから起き上がる動きを事前に察知することができ、転倒の防止につながることができた。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

- ①データを基に新規入所者個々人の対応方法を検討することができ、利用者の満足度の向上につながった。
- ②看取りケアの経験が無い職員でも呼吸、心拍の変化を観察することで経験不足を補うことができ、精神的な負担感も減少した。また、利用者のご家族に最期の様子を伝えることができ、安心していただくことができた。
- ③データを基に眠剤を調整することで利用者の安眠につながり、夜勤職員が訪室する回数も減り、負担軽減につながった。
- ④転倒のリスクを事前に把握できるようになり、職員が安心して他利用者様の介護に当たることができるようになった。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

- ・Wi-Fi環境が安定していないと接続エラーが起きやすい。
- ・データを蓄積するだけでなく、比較、分析することが大変重要であり、それができる職員を育成することが必要である。



# 介護ロボット導入効果報告書【山内ホスピタル介護老人保健施設】

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社団医療法人かなめ会  
施設名 山内ホスピタル介護老人保健施設  
施設の種別 介護老人保健施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	株式会社モルテン	アミア
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
14 台	令和 3 年 2 月 1 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

○ナースコールを押すようお願いしているご利用者様で、認知症による影響やADLの低下によりベッドからナースコールを押すことなく動かれる方に対し使用している。現在、14台はフル稼働している。特に、一人でベッドから降りようとしたり、褥瘡発生リスクが高いご利用者様に使用することによって、職員が安心して他の業務に専念することが出来ている。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

○センサーが反応すると、職員が持っているPHSが鳴る為すぐに訪室することができ、転倒・転落の事故を未然に防ぐことができた。

○動かれたご利用者様の要望を確認することができ、ご利用者様の不安感の軽減にも繋がった。

○動かれたことがわかり、すぐに対応できる為、職員の精神的負担が軽減できた。

○エアマットである為、褥瘡発生の予防もできた。

○結果として、重大事故や危険な状態を減らすという目標が、ヒヤリハット件数や事故報告の減少から、8割程度減らすことが出来た。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

○見守り機能により、夜間や日中ベッド近くで入居者の様子を頻繁に確認できない時も、ナースコールで知らせがあるため、職員が安心してほかの業務に従事することが出来たことから、見回りで短縮できた介護時間により他の業務を充実させることが出来た。

○入居者が床づれなどの苦しさから体を動かした場合に、センサーで変化を迅速に察知することにより、ベッドからの転倒・転落の危険性を回避することが出来た。

○入居者がエアマットレスによる定期的な体位変換や体圧分散により痛みや苦痛から解放されることにより、快適な生活を送ることが出来た。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

○センサーベットの、寝返りなど危険性が無い場合でも体動をキャッチして信号を発信するため、利用者のQOLや行動履歴、生活習慣や癖などをしっかり把握していないと、コールの危険性を判断しづらい場合がある。

○センサーコードが劣化で外れたり、断線することがあり、早急な修理が必要となる場合がある。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 医療法人敬長会  
施設名 介護医療院みよし  
施設の種別 介護医療院

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	(株)モルテン	「見守り機能搭載」標準マットレス テレサコール
導入台数	導入(納品)時期	リース・レンタルの契約期間
45 台	令和 2 年 12 月 28 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

認知症が進行している方、立位保持不可の利用者様であり体動の激しい方、ベッドより降りようとされる方々には臥床時のみ毎日使用。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

導入前は昼夜問わず、転倒、転落リスクの高い利用者様の居室を頻回に訪室する必要があったが、導入により訪室回数が減り、他の業務が滞りなく遂行できるようになった。特に夜間は人員が少ないため、夜勤者の負担軽減につながった。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

夜勤帯の定時巡視以外の頻回な巡視が減り、夜勤者の体力的、精神的負担軽減となった。センサーが鳴ることにより、未然に転倒、転落を防げた。また、徘徊行動を安全に見守れたり、トイレ誘導がスムーズに行えた。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関すること、使い勝手に関することなど具体的に記載すること。

職員の意識の問題ではあるが、常にONの状態であると思いつくことが多々ある。部屋移動、入浴後によくOFFのままのことがあり転倒、転落につながった事案がある。スイッチ入れ忘れなど知らせる機能がわかりやすくあるといいと思った。

# 介護ロボット導入効果報告書

( 1年目 ・ 2年目 ・ 3年目 )

法人名 社会福祉法人大和社会福祉事業センター  
施設名 ハートシティ中濃の杜  
施設の種別 老人福祉施設

## 1 導入したロボットについて

機器の種別	メーカー名	機種名
7 見守り・コミュニケーション支援機器(介護施設型)	N&F テクノサービス	ネオスケアー
導入台数	リース・レンタルの契約期間	
5 台	令和 3 年 3 月 12 日	令和 年 月 日から 令和 年 月 日まで

## 2 使用状況について

### 【介護ロボットの使用状況(使用する場面・使用頻度等)】

※日々の利用状況が確認できる日誌等を活用して、具体的に記載すること。

令和4年度に新たに5台増やした事でさらに画像確認や音声検知などでリスク管理ができています。夜間帯もネオスケアーがある事で、画面で確認しコール等の優先順位決め対応する事が出来ています。

## 3 導入によって得られた効果

### 【目標の達成状況】

※介護ロボット導入により達成すべき目標(3年間目処)が、どの程度達成できたのかについて記載すること。

夜勤中に稼働しているネオスケアーが増えたことにより、オムツ交換中やトイレ介助中などすぐに駆け付けられない時に、タブレットを持ち歩くことで、フロアの全体的な様子を把握できるようになった。タブレットの画像をその場で確認することにより、すぐに駆け付けるべきか、そうではない場合かを判断できるようになった。入居者様、ショートステイ利用者様の安否確認、ひいては事故防止に繋げれることができています。

事故が起こった際にも、動画を後から見て事故防止の検証にもつなげれている。軽度事故が11月に増床してから、軽度事故が月平均で約2件ほど減った。

### 【介護ロボットの導入効果】

※介護時間の短縮、直接・間接的な負担軽減効果、介護従事者(利用者)の満足度等を具体的に記載すること。

音だけのセンサー類の設置だけでは状態把握ができないため、職員一人対応の夜間帯はセンサーがなったら遠い部屋でも迅速に駆け付けなければならなかったが、ネオスケアーの導入によりその場で画像判断できるようになり、例えば寝返りを打った場合や、駆け付けなくてもいいという判断ができるようになり、肉体的負担が軽減できている。巡視回数や訪室回数が減り負担軽減に繋がれている。

## 4 その他

### 【介護ロボットの不都合な点等】

※介護ロボットの機能に関する事、使い勝手に関する事など具体的に記載すること。

・シーツ交換や居室の掃除でベットを移動させてしまうと設定がズレてしまい、再度設定しないとイケない。新しい職員に設定の仕方をうまく伝えれないときもあるがスタッフさんが勉強会をしてくれ助かります。